

## 6 自由記載（抜粋）

自由回答は 320 件であった。主な内容は次の通りである。

### 【男女の地位や役割について】

- ・共同参画は大切だが男と女すべて同じで考えるのは無理があると思う。女性が社会に出る時間が長くなるほど、少子化が進む。ケガや命の危険があるものは男性がやれば良い。男は子供が産めない。女性しか出来ない大切な仕事もたくさんある。(45～49 歳 男性)
- ・男女が平等に生活する為には、社会全体が変化していく必要があると考えます。古くからのつながりやコミュニティがある日立市は良いところがある反面、古くからの固定観念が残り、まだ暮らしにくいと感じるところもあると思います。市民一人一人の意識が変わっていくことが一番望ましいと考えますが、その為には行政のリーダーシップも欠かせないと強く感じます。特にLGBT問題、夫婦別姓は行政がやるべきことと考えます。(強く思います) (25～29 歳 女性)
- ・例えば、議会を男女半々にするなど、具体的に法やしくみで変えていく時代だと思う。(60～64 歳 男性)
- ・良い意味での「男らしさ」「女らしさ」は必要であると考えている。様々な分野での女性の登用は重要なことであるが、能力を重視しての登用であれば問題はない。女性だからといって能力のない方を登用することはだめである。(55～59 歳 男性)
- ・今はまだ男性が活躍することが多い社会のせい、男女平等というと「女性の意見を取り入れよう！」だとか「重要な役職に女性を登用しましょう」だとか言われるのが気になります。性別の違いを活かした意見もあるのですが、一日も早く、女性が男性がという議論ではなく、個人の良さ、特性を活かした働き方や生活があたりまえになってほしいなと思います。学校教育や家庭での親子の会話の中で、人間はみんな平等という視点でこれからの社会の価値観を少しでも変化させられるようなことが必要なのかなと思っています。(35～39 歳 女性)
- ・“男女”と書くこと自体、差別をしているように思える。ひとりの人間として尊重することが大切ではないか。そういう社会になるよう努力する必要があると思うが、離職した女性は社会で活躍していないかのように問う、問 22 は問題があるのではないか。“女性の意見や視点”と問うのも、女性を差別しているように思える。(60～64 歳 女性)
- ・“男女”“共同”参画には二元的価値観がありありと見てとれます。必要なのは“一個人としてどう生きるか”という考え方や教育であり、性差はあって当然なので、個々人が自らの人生をデザインしていく必要があるのではないのでしょうか。その点で女性の出産時などは身体的事由からサポートが必要な場合が多いので、親族とのつながり等、個人力により格差が生じないよう、公的援助が充実することを希望します。(30～34 歳 女性)
- ・最終的には男性だから女性だからという意識を持たずに様々な活動が出来るようになることが最善と思います。(50～54 歳 男性)
- ・「男女共同参画」耳ざわりのいい言葉だが、そもそも男女は異なると思う。身体的にも考え方も異なるのだから、お互いの良い部分を生かせれば良いと思う。うわべだけの「男女平等」に力を注ぐのは違うと思う。(35～39 歳 男性)
- ・同じようにするのが平等だと思っている人が多いと思う。男と女で出来る事それぞれ分担して男でなければ女でなければ出来ない事を理解する事が大事なのでは？身体的に男女平等は無理だと思う。間違わないように。(60～64 歳 男性)

- ・男性と女性の問題だと捉えがちですが、男性と男性、女性と女性間の問題でもあると考えています。(25～29歳 女性)

### 【家庭生活について】

- ・やはり家事は女性がやる事が多く、負担は多いです。そのような事を広報等でも特集して載せてもらえたらいいと思います。広報は夫も見ることがあるので、そのような記事を見たら関心が高まるかもしれません。(45～49歳 女性)
- ・少なくなってきたとは思いますが、男性の一部の人間は（とくに会社）、夫は「子供や妻の病気の為に会社を休む」ことをしたくない人がまだいると思う。子育てをどうしたらいいのか、子供とどう向き合って育てていけばいいのか多分分かっていないので、妻に任せきりの人もいます。さらに共働きだと、母も父も土日は休みたい気持ちは一緒なのに、やっぱり夫がリビングでTVをみて寝そべっているとイラっとしてしまうし、世の中全体が夫婦で協力して家事を分担していけるようになるために男性にも掃除や料理に自信をもってもらえるような風潮になるといいです。(45～49歳 女性)
- ・男女共に平等にと長い間いわれ続けてもなかなか難しいです。年令もあるのですが、家庭内でも家事、育児、介護とすべてやってきました。つい先日、親をみとり次は私達の番です。これからの若い方達は、子育てひとつみてもお父さんが本当によく協力してみているといいものです。やはり共になんでも平等とまではいかないまでもお互い出来ることをまず始めてみたいです。掃除と食事の片づけとお願いをしなくても出来るようになりましたから、次はおいしいおかずが食卓に出てくるのを待っているのですが。家の中にも、家の外にも目を向けてがんばります。(70歳以上 女性)
- ・まだまだ男女の差を感じる事が多い。特に年配の方の考えは、昔から全く変化がない。女がやって当然というようなことを平気で言う人いるし、やり過ぎると女のくせにと言う人もいます。女性には身体的な負担（出産等）があるので、子育てから介護まで何でも任せきりでは大変だと感じる。特に介護は、もっと周りの協力が必要だと思う。(45～49歳 女性)
- ・私は、家の中の事をほぼ妻に任せきりです。妻は出産を機に退職し、子供が大きくなり、今はボランティアやアルバイトをしています。とは言え、まだ小学生なので、子供も母親に甘える事、思春期を迎え相談したい事など多いと感じます。子育てに邪魔にならないように時間を見つけて働き、社会活動もする。自分も社会と繋がりながら、たまにママ友と楽しい時間を持ち、それでいて自分（私）の親と同居し良い関係を築き、子供も祖父母である私の父母と暮らすことでおじいちゃん、おばあちゃんと触れ合い、父も母も孫と触れ合い、やさしく育てていると感じます。日立市で3世代同居をして、本当に良かったと感じています。土地柄、私のような住民は多いのでは？と感じます。父母が高齢になりこれから介護などの問題が出てくると、私は仕事が忙しいのでまた妻に任せきりになるのではないかと心配です。これからそういう問題に直面するであろうアラフォー世代に、これからの介護施設などの介護にかかわる情報を定期的に発信していただきたいと思います。(40～44歳 男性)

### 【仕事と生活について】

- ・現時点における男性の職業環境が、家族や家庭のために休暇を取得できる状況にはなっていないのが原因である。いくら良い法律があっても、休暇を自由にとれない、とらせない上司の多いこと。(65～69歳 男性)

- ・女性の立場として、シングルマザー、働くママ等に対して私が子育てをした時期に比べたら、とても良くなっていると思います。それに対し、シングルファザーや男性の子育てに対して、やっぱり、世の中はまだまだ厳しいと思います。時々、男女は平等だけどその時その時に求められる役割は変化するのではと思います。“男女平等”が一人歩きをすると、結局弱い立場（老人、子供等）にしわ寄せが来ると思います。肩の力を抜いて生活してゆければと思います。（55～59歳 女性）
- ・少子化対策の為に、女性が結婚・出産しやすい環境づくりが大切です。職場や雇用形態により、女性の働きやすさの差が大きいと思います。女性の妊娠・出産・育児のサポートを公的に行い、平等に安心して仕事ができる市を目指してほしい。（60～64歳 女性）
- ・最近では教育のためか、「イクメン、カジメン」と呼ばれ、家事育児に協力的な男性も増えてきたが、明治、大正、昭和と続いてきた「誰のお蔭で食わせてもらっているのか」という男性の考えがまだまだある。結局、原因は経済格差だと思う。それを解消するためには、女性も経済的に自立することが必要。その為には、育休や介護休の後に正社員として社会復帰できるべきである。保育園の充実はもちろんのこと。男も女も人間として日々の生活面に於いても経済面に於いても自立が必要。経済格差が男>女の時なまあいいが、女>男となると面白くない男が多いのもおかしな現象だと思う。諸々現実のものとする為には長時間労働を改めるべきである。（70歳以上 男性）
- ・個人的には、男女間での生活・仕事における格差を実感することは少なく感じている。私の親世代を見てみると、男は外、女は家庭というのが普通であり、子どもの頃私自身もそれが当たり前だと思っていた。実際に私が結婚し、子どもが産まれたが、妻は外で働いているし、私も仕事も家事もやるので、これが今は当たり前だと思っている。私の周りの同僚や上司に目を向けても共働きは多く、夫婦で両立している方は多いように感じます。一方でまだまだ男女間で不平等を感じている方もいると思いますので、行政には積極的に女性の社会進出に取り組んでほしいです。特に子育て世代へのサポートをお願いします。（30～34歳 男性）
- ・男性も女性も自分のライフステージに合わせて働ける・復職できることが大切だと思います。お互い大変なところを理解し、支え合っていける社会をつくっていききたいです。（25～29歳 女性）
- ・女性が仕事を持つことは、その人の生きがいを持つことにも繋がると思う。私は子供が自分の手を離れるようになったころ、自分のやりたい事がでてきて、趣味などを家事に支障がない程度でやるように、外に出るようになった。それにより、人との関わりが増え、自分の楽しみも増えた。仕事も自宅でできる自分の特技を活かせる事でやりがいを感じている。きっと考え方は人それぞれ。それぞれが人生を楽しめるように応援できるような政策が理想です。（60～64歳 女性）
- ・私は子供が3人居ます。3人持ててとても幸せです。結局、子供を育てるという事はものすごい仕事だと思っていて、片手間でできませんでした。近くに実家が無いので結局は専業主婦という形をとりました。最近では少し時間ができてきたので単発のバイトなどはできるようになりましたが、少子化の構造もここから変えないとダメだろうと思います。男女平等とは言いますが、どちらもバリバリ仕事をするなら、子供の数は少なくないと出来ません。仕事場に頭下げて子供の調子が悪い時に休まなきゃいけないようでは、本当にきついと思います。男女平等だけでなく、いろんな日本の仕組みが変わらないといけなさと考えてます。（45～49歳 女性）
- ・女性だけを介護・育児・家事に縛りつけないような社会の仕組みを作ることです。（70歳以上 男性）
- ・保育、介護関係で仕事をしています。女性が結婚し、子どもを産んでも働ける環境を作っていくことは大切だと考えますが、受け皿となる介護や保育に携わる人手が不足している以上難しいと思

ます。問 30（3）のサービスを充実するために人材の育成と確保をお願いしたいです。（45～49 歳 女性）

- ・就学前の子供 2 人育てながら育休をとり、復帰し、フルタイムで働かせてもらっていますが、子供の成長とともに、毎日時間に追われる忙しさと身体が（精神的に）辛いので時短などを考えています。子供ができる前から（歴 10 年以上）勤めてきたので、上司との相談もしやすく、やりがいがある職場なのですが、仕事内容等リーダーの立場でやってきていますが、評価が低く、その理由で欠勤がひっかかり、そもそも子育てしている人に現場リーダーまかせておきながら、会社でできるだけ欠勤しないようにがんばって出勤しているのに、欠勤だけで評価下げられるのはいかがなんでしょうか？（25～29 歳 女性）
- ・男女共同参画と謳っているが、女性の不満改善が大半を占めているような気がする。昔は女性の立場が弱かったので仕方ない気がするが、男女共同参画が浸透してきた今は、男性の意見ももっと聞いても良いのかと思う。また、職場においては、平等と公平をはき違えている職場もあると思う。同じ勤続年数で、長期休暇をとっていない男性と複数回育児休暇を取得している女性の給与やキャリアが一緒なのは、不公平だと思う。（育休中の私にとっては嬉しい事です…）（25～29 歳 女性）
- ・まずは、職場の労働時間がどこを見ても長すぎる。女性が社会へ出て「男性のように」働き始めた結果、子供を育てる時間が無くなって少子化が進んでいるのが現状。親がきちんと子育てする為にはまず男女共、勤務時間が短くならないと物理的に無理。保育所や学校に預けっぱなしにされた子供たちは家庭で躓もされておらず、保護者は働くので精一杯。これでは教育もままならない。「男女共同参画」が「無人の家庭」を作るものであってはならない。男性にも女性にも家庭生活を営む時間を作ることが最重要だ。（50～54 歳 女性）
- ・私が仕事をしていた頃に比べて、女性が働きやすい環境になってきていると思うが、依然として保育や介護を担うのは女性である。家庭の中から男女共同参画が進まなければ、女性が重責あるポストや仕事を続けるのは困難と思う。市議員も女性の議員さんが増えると（半々ぐらいまで）日立の街も変わらと思う。（70 歳以上 女性）
- ・男女共同参画についてあまり知りませんでした。もっと宣伝すべきだと思います。自分は会社幹部ですが、今は男性より女性が仕事に対しての取組、態度が自社ではとてもよいです。女性の社会進出を期待したいです。まだまだ男性優位の社会ですが、女性の能力を充分発揮して欲しいです。我社では女性を積極的に採用しています。子育てしながらも働く時間を自由に持っていて能力発揮していただいています。市にももっと女性の力を発揮できる機会を設けてほしいです。（55～59 歳 男性）
- ・子供を安心して預ける事ができる施設が充実しないと、女性の社会進出は難しいと考えています。（30～34 歳 男性）
- ・様々な年代の方がいるため、非常に難しい問題だと思う。女らしさや男らしさは時代によって変化するものもあると感じるが、今でも家事・育児・介護は女性がするものという風潮は根強い。しかし一方で仕事をする女性がそのような理由で時短等を求めると、なぜか女性から攻撃を受けることも多く、女性が女性の足を引っ張るという事も多い。男性だけでなく、女性も考えなければならぬし、知らなくてはならないことが多いと思う。（45～49 歳 女性）
- ・男性、女性とか関係なく優秀な人材は認められて、責任ある立場に登用して、活躍できる環境づくりに期待しています。同様に働きたい方が平等に仕事ができる雰囲気や意識づくりを、引き続き取り組みいただきたいと思っています。（35～39 歳 男性）

- ・女性管理職を増やすべきだとの方針からもともと少ない女性社員が優先的に昇進していく状況を少なからず見ており、違和感を感じている。その仕事において優秀な人間が男女問わず昇進するのが男女共同参画の本意だと思います。(50～54歳 男性)

### 【地域活動について】

- ・女性のみが大変なことをする必要があると感じる。他の地域よりも男尊女卑の古い考えが根強く残っている。…学校のPTA活動も女の人ばかり。全く理解できません。特に学校活動関係は女の人の負担を多くしている代表的なものです。変えていただくことを強く要望します。(50～54歳 女性)
- ・市内の交流センター（コミ推リーダー）を女性にする努力を！60才以下の女性の就労（ボランティアと言われる職種にも）には給与を払うことを提案したい。(70歳以上 男性)
- ・男女の能力に差は何かしらあります。すべて平等にはいかないことを理解しつつ協力しあう地域づくりを目指せればと感じます。(50～54歳 女性)
- ・母子家庭・母子手当・母の会、みんな古いと思います。(40～44歳 女性)

### 【日立市について】

- ・子育てや介護に公の支援は不可欠です。日立市が「男女共同参画計画」に積極的に取り組んでくださっていることはありがたいです。(65～69歳 女性)
- ・このことについて、一般的に考えるのではなく個別の状況に応じて柔軟に対応や問題に取り組むことが大切だと思います。男女それぞれの視点が活かされたときに、魅力あるまちになるのではないかと思います。また、日立市が元気にならないと市民の生活はうまくいかなくなり、男女共同参画もうまくいかないのではないかと思います。ある程度経済的なことも大切です。日立市はよい町だと思いますが、特徴がない簡素な町だと思います。暮らしやすいですが物足りないです。(45～49歳 男性)
- ・普段はあまり考えていませんが、ニュースを見るたび日本は男女平等ではないと感じています。もっともっと女性が活躍できる場は必要だし、女性の声も聞いてほしいです。日立市でも、議員等女性が増えると良いと思います。(50～54歳 女性)
- ・男性も女性もあらゆる分野で活躍のできる社会づくりが日立市でも行われることを、これからも望んでいます。(20～24歳 女性)
- ・市の活動方針等の決定を大きく左右する組織の方々は、男女平等というか均等なのでしょうか？男性が女性に譲るとか、女性を優遇して…とかの考え方だとすればズレていると思います。男性か女性かではなく、人としてどうかという社会に早くなってほしいです。柔軟な思考ができる市政であってほしいとも思います。(55～59歳 女性)
- ・男女共同参画については、市町村レベルでの政策では限界があると感じる。国・県・社会全体で取り組む必要がある。(55～59歳 男性)
- ・役所に何でも求めようとする風潮には疑問を感じるが、相談の窓口はあった方が良いかなと思う。(50～54歳 男性)
- ・「女性センター」に対し、「男性センター」という建物は日立にあるのでしょうか。行政が既に性差別をしている。(70歳以上 男性)

- ・日立市の人口減少が進む中で、男女共同参画は、とても重要な政策と考えます。小・中学校年代から（学校教育から）男女平等や相互理解等、大切と考えます。男女共同参画に関する情報発信が不十分と感じます。市報等で、特設ページ（号）を増やす、女性の意見・視点コーナーの設置など、目に触れる様に頑張ってください。期待しています。（40～44歳 男性）
- ・男女共同参画の実現には男性の協力・理解が必要であり、男性への働きかけ、情報提供の機会を増やしていただけたらと思う。（35～39歳 女性）
- ・保育園に通う兄弟が保育園の人数の関係で別々の保育園になってしまうことは、働く母親にとって大きな負担となるので考えていただきたいと思います。（55～59歳 女性）

### 【教育について】

- ・男女共同参画については、義務教育（小学校）中で、しっかりと認識させていくことが大切だと思います。自分が子育てしていく間に、子どもたちに家庭生活においても教育においても男女差をつけずに心がけました。育った子どもたちは、専門職に就いてますが、結婚し育児が加わってくるとやはり母としての役割性は不変にあるため、娘2人は生活内で両立させていくことの大変さがあるようです。次世代には共同参画意識をしっかりと持てるように宜しくお願いします。（60～64歳 女性）
- ・生き方や仕事の選択に関して男女それぞれの特徴・個性を活かして協力していくことで、豊かで幸せな社会を築いていけるということ、幼稚園の頃からの教育の中で実践していくことが大切だと思います。幼稚園、小学校低学年からの教育の大切さを、今になってしみじみ思い返しております。貧しい時代の幼少期でしたが、素晴らしい先生方に恵まれたことが何よりの宝物です。（70歳以上 女性）
- ・今年の小学校1、2年生の学校生活を見てると、男性生徒より女子生徒の方が積極的・活発な行動が見える。この児童生徒が築く10年・20年後の男女共同参画社会は更に進むと思います。その為にも戦争、紛争の無い社会の構築が必要と思います。（70歳以上 男性）
- ・男女平等を意識しすぎて逆に男性が卑下されるところも見受けられますので、正しい意識の持ち方を伝えていって欲しいと思います。（20～24歳 男性）
- ・自分らの世代では、男女共同参画への意識が低く、その取組みを認識していない方が多いと感じます。そのため、若い方達に対しては取組みや現状を知る機会を設けることが良い効果を得られると思います。（20～24歳 男性）

【付録 調査票】

日立市に住む男女の生活と意識の調査

ご協力をお願い

日頃から、市政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、日立市におきましては、平成29年に策定した「第3次ひたち男女共同参画計画」に基づき、男女が共にその個性と能力を発揮できるよう、様々な取組を進めています。この計画の期間が令和3年度で終了するため、次の新しい計画を策定するにあたり、市民の皆様にアンケートをお願いして、今後の男女共同参画施策に生かしていきたいと考えております。

今回ご協力をお願いしているのは、日立市にお住まいの20歳以上の方4,000人（男女各2,000人）で、無作為に抽出させていただいた方々です。ご回答については無記名で、統計的に処理しますので、回答者が特定されたり、他の目的に使用することは一切ありません。

ご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年8月

日立市長 小川 春樹

◆ご記入にあたってのお願い◆

- 1 アンケートには、あて名のご本人がお答えください。
- 2 項目ごとの説明にしたがって、あてはまる項目の番号・点数等に○をつけてください。「その他」にあてはまる場合は、具体的な内容を（ ）の中に記入してください。（全体で15分程度のアンケートです。）
- 3 記入後は、同封の返信用封筒に入れ、**9月10日（木）まで**にお近くのポストに投函してください。（切手は不要です。）



日立市男女共同参画社会  
シンボルマーク

【お問い合わせ先】

日立市 生活環境部 女性若者支援課 男女共同参画推進室

〒317-0073 日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター6階

電話 0294-26-0315 IP電話 050-5528-4939

FAX 0294-26-0317

Eメール: josei@city.hitachi.lg.jp

# 日立市に住む男女の生活と意識の調査

あなたご自身についてうかがいます。

F1 あなたの性別を教えてください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |    |   |    |   |       |
|---|----|---|----|---|-------|
| 1 | 男性 | 2 | 女性 | 3 | 回答しない |
|---|----|---|----|---|-------|

F2 あなたの満年齢はおいくつですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |         |    |         |
|---|---------|----|---------|
| 1 | 20～24 歳 | 7  | 50～54 歳 |
| 2 | 25～29 歳 | 8  | 55～59 歳 |
| 3 | 30～34 歳 | 9  | 60～64 歳 |
| 4 | 35～39 歳 | 10 | 65～69 歳 |
| 5 | 40～44 歳 | 11 | 70歳以上   |
| 6 | 45～49 歳 |    |         |

F3 あなたは結婚されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |            |   |        |
|---|------------|---|--------|
| 1 | 未婚         | 3 | 離別・死別等 |
| 2 | 既婚（事実婚を含む） |   |        |

※事実婚：婚姻届を提出せずに事実上の婚姻関係にある状態。

F4 あなたにはお子さんがいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |    |   |     |
|---|----|---|-----|
| 1 | いる | 2 | いない |
|---|----|---|-----|

F4-1 F4で「いる」と答えた方に質問です。あなたの一番下のお子さんは次のうちどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |     |   |            |
|---|-----|---|------------|
| 1 | 就学前 | 4 | 中学卒業以上の未成年 |
| 2 | 小学生 | 5 | 成人         |
| 3 | 中学生 |   |            |



F5 あなたのご家族に介護を必要とする方はいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |         |   |         |   |     |
|---|---------|---|---------|---|-----|
| 1 | いる (同居) | 2 | いる (別居) | 3 | いない |
|---|---------|---|---------|---|-----|

※1、2どちらもいる場合は「1 いる (同居)」と回答してください。

F6 あなたが現在同居しているご家族の構成は、次のうちどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 1 | ひとり暮らし               |
| 2 | 夫婦のみ (事実婚も夫婦とみなします。) |
| 3 | 親と子 (二世帯)            |
| 4 | 親と子と孫など (三世帯以上)      |
| 5 | その他 ( )              |

F7 あなたが最後に卒業した学校、又は現在 在学中の学校はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |              |
|---|--------------|
| 1 | 中学校・高等学校     |
| 2 | 専門学校、短大、専修学校 |
| 3 | 大学・大学院       |
| 4 | その他          |

F8 あなたがお住まいの小学校学区に○をつけてください。

1 助川	2 会瀬	3 宮田	4 滑川	5 仲町
6 中小路	7 大久保	8 河原子	9 成沢	10 諏訪
11 水木	12 大みか	13 大沼	14 金沢	15 塙山
16 油繩子	17 田尻	18 日高	19 豊浦	20 久慈
21 坂本	22 東小沢	23 中里	24 櫛形	25 山部

男女の地位や役割についてうかがいます。

問1 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 賛成
- 2 どちらかといえば賛成
- 3 どちらかといえば反対
- 4 反対
- 5 わからない

問2 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたはどうか考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 結婚するまでは職業を持つ方がよい
- 2 結婚して子どもができるまでは職業を持つ方がよい
- 3 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
- 4 子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい
- 5 女性は職業を持たない方がよい
- 6 その他 ( )
- 7 わからない

問3 次の言葉の中で、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 男女共同参画社会
- 2 ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）
- 3 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）
- 4 男女雇用機会均等法
- 5 育児・介護休業法
- 6 DV（ドメスティック・バイオレンス）
- 7 女子差別撤廃条約
- 8 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）
- 9 L G B T

問4 あなたは、次の分野において男女の地位は平等になっていると思いますか。  
 下の(1)～(8)について、あてはまる数字1つに○をつけてください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
(1) 家庭生活	1	2	3	4	5	6
(2) 職場	1	2	3	4	5	6
(3) 学校教育	1	2	3	4	5	6
(4) 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
(5) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(6) 町内会・自治会等の自治組織	1	2	3	4	5	6
(7) コミュニティ	1	2	3	4	5	6
(8) 社会全体	1	2	3	4	5	6

問5 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために不足している、不十分だと思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 法律や制度の上で女性差別につながるものを改めること
- 2 女性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
- 3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること
- 4 女性の再就職や社会参加を支援する施設やサービス（保育や介護等）の充実を図ること
- 5 国や地方公共団体において、重要な役職に積極的に女性を登用すること
- 6 民間企業や団体などの重要な役職に女性の登用が進むよう支援を行うこと
- 7 女性が少ない分野（研究者等）への女性の進出を支援すること
- 8 女性リーダーに対する男性の抵抗感をなくすこと
- 9 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、男女の働き方の見直しを行うこと
- 10 その他（ ）

問 6 あなたは、「男性だから」「女性だから」という決めつけにより生きにくさを感じたことはありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 ある

2 ない

※ 問6で「ある」とお答えの方にうかがいます。

問 6-1 それはどのような理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 経済力が求められる
- 2 家庭より仕事を優先しないとならない風潮がある
- 3 仕事より家庭を優先しないとならない風潮がある
- 4 泣き言を言えない風潮がある
- 5 力仕事や危険な仕事を任されることが多い
- 6 リーダーシップが求められる
- 7 家事スキルが求められる
- 8 責任を取らされることが多い
- 9 機械や情報通信に通じていると思われる風潮がある
- 10 責任のある仕事を任せてもらえない
- 11 気が利くことが求められる風潮がある
- 12 一度退職すると正社員（正規雇用）になりにくい
- 13 育児や介護等、家族の世話を担うことが多い
- 14 その他（ )

家庭生活についてうかがいます。

問7 あなたは、「結婚」についてどのようなイメージをお持ちですか。下の(1)～(7)について、あてはまる数字1つに○をつけてください。

	そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない	わからない
(1) 家庭を持つことによりやすらぎや精神的充足が得られる	1	2	3	4	5
(2) 結婚により社会的評価が安定する	1	2	3	4	5
(3) 経済的にゆとりのある生活を送ることができる	1	2	3	4	5
(4) 協力・分担しあうことで、日常生活が楽になる	1	2	3	4	5
(5) 様々な経験が増え、自分が成長できる	1	2	3	4	5
(6) 結婚すると自由がなくなる	1	2	3	4	5
(7) 他人と暮らす面倒さがある	1	2	3	4	5

問8 あなたの家庭で、次の家事を主に担っているのは誰ですか。下の(1)～(11)について、あてはまる数字1つに○をつけてください。

	自分	配偶者 (パートナー)	他の家族(同居 の親や子ども)	家族で同程度の 分担	活用 有料サービスを	該当しない
(1) 掃除	1	2	3	4	5	6
(2) ゴミ出し	1	2	3	4	5	6
(3) 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
(4) 食事の後かたづけ・食器洗い	1	2	3	4	5	6
(5) 洗濯	1	2	3	4	5	6
(6) 日常の買い物	1	2	3	4	5	6
(7) 家族の送迎	1	2	3	4	5	6
(8) 日常の家計管理	1	2	3	4	5	6
(9) 育児	1	2	3	4	5	6
(10) 介護	1	2	3	4	5	6
(11) 地域行事	1	2	3	4	5	6

問 9 あなたは、この3年間の間に、次のような地域活動に参加したことがありますか。下の(1)～(6)について、あてはまる数字1つに○をつけてください。

	頻 繁 に 参 加	あ る 程 度 参 加	参 加 し な か つ た あ ま り	参 加 し な か つ た 全 く
(1)町内会・自治会の会合や行事	1	2	3	4
(2)コミュニティ活動	1	2	3	4
(3)子ども会やスポーツ少年団などの活動	1	2	3	4
(4)保育園や幼稚園、学校のPTA活動	1	2	3	4
(5)まちづくりなどに取組む活動	1	2	3	4
(6)ボランティア活動	1	2	3	4

※ 問 9 で全てに「あまり参加しなかった」または「全く参加しなかった」とお答えの方にうかがいます。

問 9-1 参加しないのはどのような理由ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 仕事が忙しく時間がない
- 2 育児や介護のため時間がない
- 3 経済的な負担がかかる
- 4 健康に自信がない
- 5 対人関係に自信がない
- 6 情報がなくわからない
- 7 役員などにされると困る
- 8 きっかけがない
- 9 関心がない
- 10 その他 ( )

問 10 あなたは、家庭生活や地域生活について悩みや不安を感じていますか。下の  
 (1) ~ (7) について、各項目あてはまる数字 1 つに○をつけてください。

	とても不安を感じる	不安を感じる	少し不安を感じる	全く不安は感じない	該当しない
(1) 夫婦や家族の関係	1	2	3	4	5
(2) 心身の健康	1	2	3	4	
(3) 自分自身や家族の介護	1	2	3	4	
(4) 経済的な問題	1	2	3	4	
(5) ご近所や地域との付き合い	1	2	3	4	
(6) 仕事と生活(家庭生活や地域活動・個人の生活)の両立	1	2	3	4	5
(7) 自分の将来に関する問題	1	2	3	4	

問 11 あなたは全体的に見て、現在の家庭生活に満足していますか。あてはまるもの  
 1 つに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1 満足<br>2 どちらかといえば満足<br>3 どちらかといえば不満<br>4 不満 |
|--|

仕事と生活（家庭生活や地域活動、個人の生活）の両立についてうかがいます。

問 12 あなたは仕事をされていますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1 正規雇用者<br>2 非正規雇用者（パート・アルバイト・嘱託）<br>3 自営業主・家族従事者<br>4 専業主婦・主夫<br>5 学生<br>6 無職 |
|--|

※ 問 12 で「1～3」とお答えの方にはうかがいます。

それ以外の方は問 19 へお進みください。

問 12-1 あなたの仕事の内容は何ですか。どちらか1つに○をつけてください。

1 管理職

2 管理職以外

問 13 F3 で「既婚」と答えた方に質問です。配偶者は仕事をされていますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 正規雇用者

2 非正規雇用者（パート・アルバイト・嘱託）

3 自営業主・家族従事者

4 専業主婦・主夫

5 学生

6 無職

問 14 あなたが1日に行う家事（育児や介護を含む）の時間と、仕事（収入を得るための労働）の時間は、それぞれ平均どの位ですか。（ ）内に時間をお書きください。

平日	1 家事（1日平均）	（ ）時間（ ）分
	2 仕事（1日平均）	（ ）時間（ ）分
休日	3 家事（1日平均）	（ ）時間（ ）分

問 15 あなたが仕事をしている主な理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 生活のため

2 家計の補助とするため

3 経済的に自立するため

4 働くことはあたりまえだから

5 自分の能力や資格、技能などを生かすため

6 社会とのつながりを持つため

7 働いていないと人目が気になるから

8 その他（ ）



問 16 あなたは今の職場に満足していますか。下の（１）～（６）について、あてはまる点数に○をつけてください。

	とても満足	満足	満足 どちらかといえば	不満 どちらかといえば	不満
(1) 仕事の内容	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点
(2) 上司・同僚	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点
(3) 給料	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点
(4) 勤務時間・休暇	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点
(5) 役職・待遇	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点
(6) 職場全体	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

問 17 あなたの職場についてうかがいます。次のうち、あなたの職場の状況にあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 採用時に男女差がある
- 2 賃金・待遇に男女差がある
- 3 昇進や研修の機会等に男女差がある
- 4 女性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある
- 5 男性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある
- 6 女性が結婚・出産を理由として退職する慣例が残っている
- 7 仕事の内容に男女差がある
- 8 同じ職場に夫婦がいる場合、一方の昇進がもう一方の昇進や退職に影響する慣習がある
- 9 無理な転勤や異動がある
- 10 時間外労働が多い
- 11 セクシュアル・ハラスメントがある
- 12 パワー・ハラスメントがある
- 13 その他 ( )
- 14 特に差別や問題はない

問 18 あなたは、仕事と家庭の両立において、日頃から「不安」に感じていることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 子どもの具合が悪くなったときに休みが取れない（取りにくい）
- 2 学校や保育園が休みの時に子どもを見てくれる人がいない
- 3 親や家族の介護のために仕事を辞めなくてはならなくなる可能性がある
- 4 育児や介護で休みをとると昇進や昇給に影響が出る不安
- 5 育児や介護で休みがちで仕事を辞めさせられる不安
- 6 仕事が忙しすぎて家にいる時間がなく、家庭や親子関係が不安
- 7 ゆっくり休んだりストレスを解消する時間がなく、心身の健康が不安
- 8 パートナーの転勤等でキャリアが寸断される可能性がある
- 9 日中仕事のため、地域とのつながりが希薄になり、災害時などいざという時が不安
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

※ 問 12 で「4 専業主婦・主夫」「5 学生」「6 無職」とお答えの方にはうかがいませぬ。それ以外の方は問 20 へお進みください。

問 19 あなたは、今後、収入を伴う仕事をしたいですか。いずれかに○をつけてください。

- 1 はい      ———→    問 19-1 へお進みください
- 2 いいえ    ———→    問 20 へお進みください

問 19-1 現在は、どのような理由から仕事をしていないのですか。主な理由 1 つに○をつけてください。

- 1 仕事と家庭の両立が難しい
- 2 夫（妻）が仕事をするのを望まない
- 3 自分の条件に合う仕事が見つからない
- 4 自分の技術や資格を生かせる仕事が見つからない
- 5 しばらく仕事から離れていたため、仕事につくのが不安
- 6 就学中または資格取得など準備中
- 7 健康上の理由
- 8 その他（ ）

問 19-2 仕事につくときは、どんな働き方をしたいですか。主なもの1つに○をつけてください。

- 1 正社員としてフルタイムで働きたい
- 2 パートやアルバイトなどとして働きたい
- 3 起業したい
- 4 その他 ( )

※ すべての方にかがいます。

問 20 あなたが仕事を選ぶとき、重視することは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 専門知識が生かせる
- 2 性格・能力が適している
- 3 仕事にやりがいがある
- 4 能力・実績に応じて評価される
- 5 給料の条件が良い
- 6 勤務時間・勤務場所の条件が良い
- 7 職場の雰囲気が良い
- 8 育児や介護への理解や制度が整っている
- 9 福利厚生が充実している
- 10 その他 ( )

問 21 あなたは、一般的に仕事と生活を両立するためには、企業や事業所は従業員に対してどのような支援を充実するべきだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 妊娠中や育児期間中の勤務軽減
- 2 子どもの看病のための休暇が安心して取れる制度
- 3 育児休業制度などの普及促進等の環境づくり
- 4 男性も子育てに参加できる環境づくり
- 5 介護をしながらも意欲を持って働きつづけられる制度づくり
- 6 職場の構成員として対等な立場であることを認め合う環境づくり
- 7 勤務先に保育施設を設置する
- 8 在宅勤務など柔軟な働き方ができる制度の導入
- 9 その他 ( )

問 22 出産などで離職した女性が再び社会で活動する仕方として、あなたがいいと思うものはどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 これまでの知識・経験を生かすことを重視し、正社員として再就職する
- 2 仕事と家事・育児・介護との両立しやすさなどを重視し、正社員として再就職する
- 3 これまでの知識・経験を生かすことと、働く時間や場所の両方を重視し、パート・アルバイトなどとして再就職する
- 4 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどとして再就職する
- 5 家事・育児・介護の経験を生かし、地域に貢献する仕事をする（ヘルパー、保育補助、家事代行など）
- 6 これまでの経験を生かして、ボランティアやコミュニティ活動などで地域に貢献する
- 7 これまでの経験を生かして、起業又はNPOの立ち上げを行う
- 8 家事以外で活動する必要はない
- 9 その他（ )

問 23 あなたは、仕事をやめた経験がありますか。いずれかに○をつけてください。

- 1 仕事をやめた経験がある → 問 23-1 へお進みください
- 2 仕事をやめた経験はない → 問 24 へお進みください

※ 問 23 で「1 仕事をやめた経験がある」とお答えの方にはうかがいます。

問 23-1 あなたが仕事をやめた理由は何ですか。主なもの1つに○をつけてください。

- 1 任期満了・定年等
- 2 健康上の理由
- 3 会社の都合による解雇等
- 4 仕事と家庭の両立が難しかった
- 5 配偶者（夫・妻）が仕事をするのを望まなかった
- 6 家事や育児に専念したかった
- 7 家族の介護のため
- 8 別の仕事や活動をしたかった
- 9 ハラスメント（セクハラ・パワハラ等）による離職
- 10 その他（ )

配偶者、恋人などからの暴力についてうかがいます。

問 24 あなたは配偶者や恋人などからの暴力について相談できる窓口を知っていますか。いずれかに○をつけてください。

- 1 知っている
- 2 知らない

問 25 あなたは配偶者や恋人などのパートナーから次のようなことをされたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	まったく ない	1、 2度 あった	何 度も あった
(1) 身体的暴力	1	2	3
(2) 心理的暴力(暴言、長期無視、過干渉、脅迫など)	1	2	3
(3) 経済的圧迫(生活費を渡さないなど)	1	2	3
(4) 性的強要	1	2	3

※ 問 25 で「1、2度あった」「何度もあった」が1つでもあった方にうかがいます。それ以外の方は問 27 へお進みください。

問 25-1 どこかに相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 警察に通報、相談した
  - 2 警察以外の公的機関に相談した
  - 3 民間の機関に相談した
  - 4 医療機関に相談した
  - 5 家族や親類に相談した
  - 6 友人・知人に相談した
  - 7 その他 ( )
  - 8 どこにも相談しなかった
- 問 26 へお進みください
- 問 25-2 へお進みください

※ 問 25-1 で「8 どこにも相談しなかった」とお答えの方にうかがいます。

問 25-2 相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 どこに相談してよいかわからなかったから
- 2 相談しても無駄だと思ったから
- 3 相談したことがわかると仕返しされと思ったから
- 4 自分さえ我慢すればよいと思ったから
- 5 自分にも悪いところがあると思ったから
- 6 相談するほどのことでもないと思ったから
- 7 恥ずかしくてだれにも言えなかった
- 8 その他 ( )

※ 問 25 で「1、2度あった」「何度もあった」が1つでもあった方にうかがいます。

問 26 あなたは配偶者や恋人などのパートナーからそのような行為を受けたとき、どうしましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 相手と別れた
- 2 別れたいと思ったが、別れなかった
- 3 別れようとは思わなかった

日立市についてうかがいます。

問 27 日立市（鮎川町）には男女共同参画を推進するための拠点として、「女性センター（らぽーるひたち）」があります。あなたは、この施設を利用したことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 よく利用する
- 2 1、2度利用したことがある
- 3 利用していないが、知っている
- 4 知らない

問 28 あなたは、この「女性センター（らぼーるひたち）」にどのような役割を期待しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1 男女共同参画に関する情報、資料等の提供                        |
| 2 講演会、シンポジウム、フォーラム等の開催                       |
| 3 女性相談の窓口                                    |
| 4 男性相談の窓口開設                                  |
| 5 女性向け講座の開催                                  |
| 6 男性向け講座の開催                                  |
| 7 講座・講習会の開催（男女区分なし）                          |
| 8 就職支援講座や起業講座等による女性の就業支援                     |
| 9 自主的な趣味や学習活動・ボランティア活動の支援                    |
| 10 同じ悩みを抱えている人たちへのネットワーク支援                   |
| 11 いつでもだれでも立ち寄れる交流の場                         |
| 12 その他（ <span style="float: right;">）</span> |
| 13 特にない                                      |

問 29 あなたは、男女共同参画社会を実現するために市が行っている現在の取組について、どのように評価しますか。次の（1）～（5）についてもあてはまる点数に○をつけてください。

	良い	やや良い	どちらとも言えない	やや悪い	悪い
(1)男女共同参画に関する情報提供や啓発を行っている	5点	4点	3点	2点	1点
(2)政策決定に女性の意見や視点を生かしている	5点	4点	3点	2点	1点
(3)保育や介護の施設やサービスが充実している	5点	4点	3点	2点	1点
(4)男女の平等や相互の理解・協力について、学校教育や社会教育が充実している	5点	4点	3点	2点	1点
(5)男女の生き方に関する相談や交流の場を提供している	5点	4点	3点	2点	1点

問 30 あなたは、男女共同参画社会を実現するための今後の市の政策として、次の(1)～(5)の取組はどのくらい重要だと思いますか。もっともあてはまる点数に○をつけてください。

	とても重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
(1)男女共同参画に関する情報提供や啓発を行う	5点	4点	3点	2点	1点
(2)政策決定に女性の意見や視点を生かす	5点	4点	3点	2点	1点
(3)保育や介護の施設やサービスを充実する	5点	4点	3点	2点	1点
(4)男女の平等や相互の理解・協力について、学校教育や社会教育を充実する	5点	4点	3点	2点	1点
(5)男女の生き方に関する相談や交流の場を提供する	5点	4点	3点	2点	1点

問 31 アンケートの内容や男女共同参画について、ご意見やご感想があれば、ご自由にお書きください。


調査へのご協力ありがとうございました。  
 お手数ですが、調査票は、同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)





日立市に住む男女の生活と意識の調査 2020

令和3年3月

日立市

日立市生活環境部女性若者支援課男女共同参画推進室

〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1

電話 0294-26-0315

E-mail : josei@city.hitachi.lg.jp

日立市ホームページ <https://www.city.hitachi.lg.jp/>

